



紀の川市青少年センターだより



育み学ぶ元気なまち～ともに育み生涯学ぼう～
『地域社会全体で青少年を見守り育てる』

紀の川市青少年センター

〒640-0412 紀の川市貴志川町上野山256

TEL 0736-64-9888 FAX 0736-64-9889



師走を迎え、木枯らしの冷たさが身に染みる季節となりました。空気も一段と乾燥し、インフルエンザ等の感染症が心配される時期でもあります。体調管理にはどうぞご注意ください。市内の小・中学校では、**12月25日（木）から1月7日（水）までが冬休み**となっています。各家庭では、年末年始に向けた準備でお忙しいことと思います。そんな中でも、ぜひお子さんにも「家族の一員」として家事のお手伝いをさせていただき、年の瀬ならではの家庭の温かさや、役割の大切さを感じさせてあげてほしいと思います。冬休みには、クリスマス、大晦日、お正月と楽しい行事が続きますが、気が緩みがちになる時期でもあります。生活リズムの乱れや、夜更かし・偏った食事などに気をつけ、**健康と安全を第一に、充実した冬休み**をお過ごしください。

また、地域の皆さまには年末年始でご多用とは存じますが、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう**見守りや声かけ**といった温かいご協力を引き続きお願いいたします。地域ぐるみで子どもたちを育てる、その温かな眼差しが何よりの支えとなります。どうぞ良いお年をお迎えください。

夕刻パトロールを実施しています



紀の川市青少年センターでは、警察の許可を受けた青色回転灯付きパトロール（通「**青パト**」）により市内の巡回を毎日実施しています。通常のパトロールでは、小中学生の下校時刻に合わせて、子どもたちの安全を見守っています。

さらに、日没が早まる11月から12月にかけては、特別活動として「**夕刻パトロール**」を行っています。このパトロールでは、クラブ活動や部活動を終えて帰宅する中高生や、公園などで遊んだ後に帰宅する児童に対し、「気をつけて帰ってね」などと優しく声をかけながら、市内を巡回しています。また、市内各駅周辺でもパトロールを行い、電車を利用して登下校する中高生にも積極的に声かけを行っています。

夕暮れ時は視界が悪くなり、ドライバーから自転車や歩行者が見えにくくなります。車を運転される方は早めのライト点灯を、そして自転車や歩行者の皆さんは反射材を身に着けるなど、安全対策の徹底をお願いいたします。



紀の川市 日の入り時刻（めやす）

11月 7日（金）17:00

12月15日（月）16:50

お住まいの場所によっては、もっと早い時刻で日の入りとなると思われます。子どもたちには、暗くなる前には帰宅しておいてほしいと思います。

紀北青少年センター連絡協議会

10月9日（木）橋本市紀見地区公民館において、上記の定例会が開催されました。第2回和歌山県センター長・理事会の報告と県青少年センター（補導・相談）連絡協議会の役員改選等について報告されました。令和9年度会長（岩出市）、令和10年度会長〔近畿の会長兼務〕（岩出市）、**第60回県青少年（補導・相談）センター連絡協議会研修大会担当〔紀の川市〕**となっています。また、令和8年度の予算・活動報告について協議しました。その後、橋本市郷土資料館にて研修を行い、縄文時代からの歴史について学びました。郷土の偉人のブースでは**岡 潔（おかきよし）**の功績が紹介されていました。約20年の歳月をかけて世界的難問だった多変数関数論の難問を解決に導いた世界に誇る数学者です。1960年に文化勲章を受章し、1961年には橋本市初の名誉市民となっています。



青洲まつり 2025 補導・啓発活動



10月26日(日)に「～ようおこしなして～青洲まつり2025」が道の駅「青洲の里」をメイン会場に開催されました。世界で初めて全身麻酔による乳がん摘出手術に成功した「**医聖華岡青洲**」の偉業を称え、後世に伝えるために毎年開催されています。名手保育園の園児による発表で幕を開け、続いて上名手小学校の児童たちが合唱を行いました。昨年初披露された「青洲先生ありがとう」という曲も歌われ、参加者たちから温かい拍手が送られました。また、「医聖華岡青洲サポートクラブによる読み語り&ワークショップ」、「劇団華岡青洲による演劇の上映」や「医聖華岡青洲語り部門人会による語り」等の活動により**青洲の偉業**が伝えられました。

旧名手宿本陣では、命をかけ青洲を支え続けた妻 加恵の嫁入りを再現した「**もらい受けの儀**」、「**固めの式(三三九度)**」が行われました。雨天のため「青洲時代行列」は途中で中止となりました。この日は、那賀地区の補導委員さん7名と青少年センター職員2名が参加して、祭り会場の道の駅駐車場周辺での街頭補導・啓発活動を実施しました。



第3回紀の川市青少年補導委員会・役員会開催

10月28日(火)19時より、打田生涯学習センターにて青少年補導委員会第3回役員会を開催しました。当日は、合同研修会および夏季特別街頭補導の実施内容について振り返りと検証を行い、今後の活動として「冬季情報交換会」および「長田観音特別街頭補導」の実施について協議を行いました。

その結果、**冬季情報交換会**は下記のとおり実施することに決定いたしました。各地区の補導委員の皆さまならびに学校関係者の先生方におかれましては、ご多用とは存じますが、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

冬季情報交換会 19時より各地区にて実施します。



打田地区
11/25(火)
打田生涯学習C

貴志川地
11/28(金)
貴志川生涯学習C

桃山地区
12/2(火)
桃山会館

那賀地区
12/3(水)
那賀総合C

粉河地区
12/5(金)
粉河ふるさとC

県青少年(補導・相談)センター 教職員部会研修会

10月31日(金)11時より、九度山町ふるさとセンターにおいて、県青少年(補導・相談)センター教育職員部会研修会が開催されました。

午前の部では、県内各青少年センターから日頃の活動状況について報告が行われ、互いの取り組みを共有しながら有意義な情報交換の場となりました。

午後の部は、真田ミュージアムでの研修が行われました。「**まちなか語り部**」の方より、真田一族の歴史について詳しくお話を伺いました。真田幸村は、1600年の『関ヶ原の戦い』で西軍(石田三成)に属し、東軍(徳川家康)に敗れた後、高野山への蟄居を命じられました。その後、妻子とともに九度山で14年間を過ごしたといわれています。九度山を出て「大坂の陣」に参戦した際には、「六文銭」の旗印を掲げ、真紅の甲冑に身を包んだ「赤備え」の武将として知られました。特に「大坂冬の陣」では、大坂城南側に築いた出城「**真田丸**」で、押し寄せる大軍を撃退したことで名を馳せました。後に「日本一の兵(**ひのもといちのつわもの**)」と称えられたその生涯に、参加者一同深い感銘を受けました。



暗くて見えにくい「夕暮れ・夜間」に注意!

交通死亡事故は17時台から19時台の**夕暮れ・夜間**に多く発生。

運転者と歩行者の夕暮れ・夜間の交通安全対策

運転者

前照灯の早め点灯
ハイビームの上手な活用

歩行者

明るい服装
反射材用品やLEDライト等の活用

©藤下スタジオ/提供:せきぎんさんNPO法人交通安全委員会